

第32回 全国大会 神奈川大会



大会テーマ

「はやぶさ」生誕の地から

つながり合う学びの創造

問いをもち協働的に探究する子供

大会期日

令和5年6月17日(土)・6月18日(日)

新元号令和の始まりと共に全面実施となった新しい学習指導要領。しかし、ほぼ同時に感染者が報告された新型コロナウイルス感染症は、人々の生命や生活、経済や文化等社会全体に影響を与え、暮らしや働き方も変革が求められました。

その変革により、大きく形を変えざるを得なかったのが様々な「つながり」でした。「自分」「他者」「地域」「社会」「未来」これらの様々な「つながり」の変化やその重要性が顕在化し、これらの「つながり」の在り方について見直すことが社会全体に求められています。

教育界もその求めに積極的に応じていくことが重要と考えると共に、この予測困難で正解のない時代を生き抜くための資質・能力を育成し、自らの学びを創り出していく主体的な学び手を育成する核となるのが「生活科」であり「総合的な学習（探究）の時間」であると考えます。

コロナ禍を乗り越え、教育における転換期を迎えるにあたり、近地球型とよばれる小惑星「イトカワ」から表面のサンプルを、様々な困難を乗り越えて地球に持ち帰った「はやぶさ」生誕の地、神奈川県相模原市を舞台に、「つながり合う学びの創造」という教育の在り方について考えを出し合い、全国の皆様とつながり合えたらと考えています。多くの皆様のご参加を心からお待ちしております。

日程・会場

第1日目	8:30~	8:50~9:40	9:50~10:40	10:50~12:00	12:00~	13:15~15:00	15:30~17:00	17:10~17:40	17:40~	18:30~
	受付	公開保育		研究協議	移動	自由研究 発表	課題別研 究発表	総会	移動	懇親会
		公開授業①	公開授業②		昼食					
			理事会							
	<公開保育・公開授業会場> ひよこ第3保育園 RISSHO KID'S きらり相模大野 相模女子大学幼稚部 相模原市立谷口台小学校 相模原市立大野南中学校 相模女子大学高等部					相模女子大学 相模女子大学高等部 相模原市立谷口台小学校		※懇親会の参加につきましては事前申込を予定しております。申込方法につきましては、大会ホームページでご確認ください。		

第2日目	9:30~受付	10:00~10:30	10:30~12:30	12:30~12:40	※次期開催地 との引継ぎ
	9:15~9:45 地域世話人会	開会行事	全体会 シンポジウム	閉会行事	
	相模女子大学グリーンホール				

お申込み

事前申込期間4月25日から5月19日まで

【大会参加費】

(一般・事前) ¥4,500 (一般・当日) ¥5,000
(学生・事前) ¥3,500 (学生・当日) ¥4,000

【参加申込】
神奈川支部ホームページ
【携帯版】でQRコード
を読み取りお申込みく
ださい。



★5月20日(土)以降の申込みは、当日受付扱いといたします。

☆新型コロナウイルスの感染状況等により、実施内容や方法に変更が生じる可能性もあります。(神奈川支部ホームページをご参照ください。)

☆宿泊については、各自でご準備ください。上履き・靴入れ等もご持参ください。

「こちらから詳細版が
ご確認いただけます」



「つながり合う学び」の10の姿

①子供の学びがつながる

学びが連続し発展していくこと。

②子供と子供の学びがつながる

必要感を感じながら子供同士が関わり、対話と思考の相互循環的なプロセスを通して新たな気づきが生まれたり学習対象との関係が明らかになったりすること。更には、子供自身が課題解決に向けて行動すること。

③資質・能力がつながる

各教科で育成されてきた資質・能力が、ある場面において再現的・統合的に活用・発揮され、それが繰り返されることを通して、あらゆる場面で適切に活用・発揮されるようになること。

⑩私たちがつながる

我々が所属や立場を越えて連携・協力しながら教師としての力量を高めつつ生活科と総合的な学習(探究)の時間の実践や教育研究を行うと共に、その充実と普及に努めること。

④教科の学びがつながる

各教科等固有の見方・考え方が鍛えられると共に、子供自身が教科学習の有意義性・有用性を実感すること。

⑨自分の心とつながる

学習を通じた自分自身の変容をメタ認知すると共に、更にその学習が自分にとってどのような意味があったのかを自覚すること。



⑧幼保小中高がつながる

生活科・総合的な学習(探究)の時間を軸にしながら、園種・校種を超えて子供の発達を支える教師・保育者の考え方・子供の見方がつながること。

⑤地域とつながる

学びの場を学校に留めず地域に広げていくことを通して、自分自身が地域を構成する一員であることを自覚したり、自分なりに地域をより良くするために関わろうとしたりすること。

生活科や総合的な学習(探究)の時間を通して自己の生き方を考えると共に、未来社会のあり方に対しても考えを持ち、未来社会を想像する主体としての自覚をもつこと。

⑦未来とつながる

実社会に実践の機会を求め、活動を通して社会貢献をしたり、そこでの学びを通して自分自身が社会の中でどんな存在であるかを見つけ直したりすること。

⑥社会とつながる

自由研究発表

対面での自由研究発表を実施いたします。発表時間は、10分～15分程度の予定です。

また、4会場のみオンライン配信を予定しております。どの会場がオンライン配信となるかについては、運営側で決めさせていただきますので、ご承知おきください。なお、社会の状況を鑑みて、対面での実施が難しいと判断された場合に限り、電子掲示板での自由研究発表への変更を行います。電子掲示板では、一般参加者との研究交流とコメンテーターからのフィードバックがあります。

課題別研究発表

分科会	テーマ
1 オンライン 配信	【令和の日本型学校教育の実現】 学校全体で子供たちの資質・能力を育成するために、生活科・総合的な学習/探究の時間を中核として、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実をどのように実現するか
2 オンライン 配信	【幼保小架け橋プログラムの開発・実践】 各地域や各校園でカリキュラムを創意工夫し、幼児教育と小学校教育の架け橋をどのように具現化するか
3	【生活科における指導と評価】 生活科の時間における学びに向かう力・人間性等の育成に向けて、粘り強さや、学習の調整等どのように具体的に想定し、評価するか
4	【総合的な学習/探究の時間における指導と評価】 総合的な学習/探究の時間における資質・能力をどのように育成し、評価するか
5	【GIGA スクール構想下での生活科・総合の改善・充実】 生活科・総合的な学習/探究の時間において、子供自身が探究の過程で ICT をどのように効果的に活用しうるか
6	【探究の高度化・自律化】 探究の高度化・自律化をどのように進め積み上げるか
7 オンライン 配信	【社会に開かれた教育課程の実現（開催地枠）】 生活科・総合的な学習/探究の時間を中核に据えて、社会に開かれた教育課程の実現をどのように目指すか

全体会・シンポジウム

テーマ

「問いをもち協働的に探究する子供の姿から 教育の未来を」

シンポジウムでは、第1日目の公開授業と研究協議、自由研究発表、課題別研究発表を通して、問いをもち協働的に探究し学びを創造する子供の具体的な姿から「つながり合う学び」の成果と課題を確認、考えを交流し、今後の教育につなげていくことができるようにしていきたいと考えます。

基調提案	田村 学 氏（國學院大学教授）
シンポジスト	鹿毛 雅治 氏（慶應義塾大学教授） 小島 亜華里 氏（奈良教育大学特任准教授） 青木 博子 氏（新潟市立沼垂幼稚園園長）
コーディネーター	田村 学 氏（國學院大学教授）

※シンポジスト、コーディネーターの所属は、2023年3月時点

